令和６年度 第３回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和７年３月２５日（火）　午後２時から午後４時まで				
開催場所	瀬戸市役所　東庁舎４階　大会議室				
出席委員	１８名	欠席委員	６名	傍聴者	１１名

会議概要

１　会長あいさつ

（事務局）

会長を務める市長は本日欠席でございますので、申し訳ありませんが、次に進ませていただきます。

２　議長あいさつ

（議長）

本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

最近は一段と暖かくなり、お出かけしやすい時期となっています。お出かけしたい時に出かけられるというものが交通の大事な役割かと思いますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

３　議事

⑴ 協議事項　令和７年度瀬戸市地域公共交通会議予算

別紙資料１に従って事務局から説明

（質疑応答）

（議長）

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

（公募市民）

令和６年度と比較して増減があるのは主にどのような事業でしょうか。

（議長）

予算内容についての確認です。事務局から説明をお願いします。

（事務局）

全体としては３万４千円の増額であり、主に人件費及び燃料費の高騰によって市内基幹バス運行関係が増額されています。一方で主な減額分としてはにじの丘学園運行関係等があります。

（議長）

他はいかがでしょうか。

（公募市民）

にじの丘学園運行関係はなぜ減額となったのでしょうか。

（議長）
事務局から説明をお願いします。

（事務局）
にじの丘学園運行関係には、行事日に運行する一斉下校便と利用者の増加が著しい塩草が丘の朝の通学利用に対応する追加便の２点の事業があります。令和７年度予算が変化した理由としては、教育部にて決定される一斉下校便の運行日数について変更があったことと近年の実績に基づいた予算を算出したことが挙げられます。

（議長）
実績に基づいた調整ということでした。他はいかがでしょうか。輸送事業は燃料費等の増額により運行経費が上がっていくことが予想されると思いますが、今後の見込みはいかがでしょうか。

（事務局）
現在、経費が上がってきておりますが、名鉄バスにおいては令和５年１０月に運賃改定を実施し、コミュニティバスについては利用の回復等により運賃収入が増加しております。当面はこれらの収入の増加により負担金額としては維持する方向で対応していきたいと思います。

（議長）
市民の皆様に利用により負担額を維持するとのことですね。他はいかがでしょうか。
この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決　**＜全会一致で承認＞**

⑵ 報告事項　瀬戸市地域公共交通網形成計画の中間評価
別紙資料２に従って事務局から説明

（質疑応答）
（議長）
新型コロナウイルス感染症の拡大により目標値から乖離が出ておりましたが、直近は回復が進んでいると感じます。何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

（公募市民）
今回は中間報告となりますので、今後に活かすことが重要だと思います。計画策定にあたっての確認となりますが、コミュニティバスの利用者数の計画策定時の数値と目標値についての設定根拠を教えてください。

（議長）
事務局、説明をお願いします。

	（事務局） 　コミュニティバスの計画策定時の数値は平成２９年度の利用者数である９３，３５３人となっております。目標値の設定方法については、沿線地域の人口減少を踏まえ、現状維持を目指すということで９３，５００人と設定しております。 （公募市民） 　各路線の利用者数を合計して目標の利用者数が定められているかと思いますが、路線ごとにも目標の利用者数が設定されているのでしょうか。 （議長） 　事務局、いかがでしょうか。 （事務局） 　利用者数の目標値については、全体の利用者数の維持として設定しておりますので、どの路線についても平成２９年度の利用者数の維持が目標となると思います。 （議長） 　他はいかがでしょうか。 （瀬戸市小中学校ＰＴＡ連絡協議会） 　公共交通の満足度においてアンケート調査を実施しておりますが、実施後の結果報告はどのように行っているのでしょうか。 （議長） 　アンケート結果の公開方法についての質問です。事務局、いかがでしょうか。 （事務局） 　本資料で用いているアンケート結果は第６次瀬戸市総合計画市民アンケートとなり、都市計画課にて実施していないため詳細は不明ですが、市ホームページにおいて調査結果を公開している点は確認しております。 （瀬戸市小中学校ＰＴＡ連絡協議会） 　高齢の方は市ホームページの確認はしていないと思いますので、それ以外の情報提供もあると良いと思います。 （事務局） 　第６次瀬戸市総合計画市民アンケートにおいては、市ホームページによる公開しかなかったかもしれませんが、公共交通計画策定のためのアンケート調査の際には、いただいた意見を参考にフィードバックの方法を検討できればと思います。 （瀬戸市小中学校ＰＴＡ連絡協議会） 　承知しました。また、水野小学校は学区が広域のため安全な通学方法を検討したいのですが、どちらと調整すれば良いのでしょうか。 （議長） 　アンケート結果の延長の話となりますが、アンケートは市全体だけでなく地域別

	もあり、施策を実施する際にはそのような観点も重要かと思います。本件については、通学方法についてであり、にじの丘学園のような通学方法もありますので調整方法についての確認ですが、事務局、いかがでしょうか。 （事務局） 小学校の登下校については、ご承知のとおりにじの丘学園のみ公共交通を利用した通学となっております。その他の小学校の通学方法については、まずは教育部と児童の通学方法の整理が必要かと思いますのでそちらと調整していただくのが良いかと思います。 （議長） 様々な手法があるかと思いますので、またご調整いただければと思います。他はいかがでしょうか。 （公募市民） １２月開催の地域公共交通会議における品野おでかけバスの実証実験の延長協議の際に１日当たりの利用者数が令和５年度の２７．２人と比較して３０．９人へ増加したとの報告を受けておりますが、直近も利用者数は増加しているのでしょうか。 （議長） 直近で様々な取り組みをしているためその成果の確認となります。事務局いかがでしょうか。 （事務局） 品野おでかけバスについて２月までの数値を含めた１日当たりの利用者数は３１．８人まで増加しているため、前回の協議時より増加しています。 （議長） 資料２の３ページの事業の進捗状況のうち右側に達成度の欄がありますが、住民の方は事業の実施の有無だけでなく内容や効果についても着目していると思いますので、今後も適宜共有いただきたいです。他はいかがでしょうか。 （副議長） 中間評価はＰＤＣＡサイクルのうち今後のアクション（Ａ）に繋がる大事なチェック（Ｃ）となります。 公共交通の満足度については全体のみならず、年齢別や地域別など細かく分析することで次のアクションに繋げられるかと思います。公共交通における令和７年度実施予定のアンケートですが、第７次瀬戸市総合計画においてもアンケートを実施予定と聞いておりますので、その際に質問の仕方が異なると回答に差異が出て、参考にならないため注意した方が良いかと思います。 また、他の質問となりますが、品野おでかけバスは１日当たりの利用者数は増加しているのに本資料の見込み利用者数は昨年度より減少していますので、その要因と見込み利用者数の算出方法を教えてください。 さらに追加の質問となりますが、達成度が未達成となっている事業について今後、実施または検討が必要かと思いますが、現状の状況を教えてください。

	（事務局） 令和７年度実施予定の公共交通に関するアンケートについては、第７次瀬戸市総合計画のアンケートと密接な関係にありますので、担当課と時期及び内容について調整のうえ実施します。 見込み利用者数の算出方法については、令和６年度の４月から１月までは利用実績を使用し、２月及び３月分については、令和５年度の利用実績を令和５年度と６年度の４月から１月までの利用実績の比で補正し、算出しています。 品野おでかけバスについては、１日当たりの利用者数は増加していますが、運行日が毎日運行から週５日の運行となっているため総合計の利用者数は減少となっているものです。 達成度が未達成となっている事業については順に現在の状況をご報告いたします。 まず、パーク＆ライド駐車場・サイクル＆ライド駐輪場等の施設整備については、計画では整備の具体的な場所の記載はなく、整備についても駐車場及び駐輪場のハード整備の記載のため未達成としております。今後も瀬戸中水野駅周辺土地区画整理事業等の駅前におけるまちづくりに併せて検討したいと考えます。 次にバスロケーションシステムの導入については、導入の検討は行っており、いくつかの事業者に内容や費用面のヒアリングを行っております。しかし、導入の際には他事業を含めてより効果的な施策か検討することとします。 最後に運行内容見直し基準の作成ですが、こちらは収支率が一定以下の場合、見直しを検討するといったものが挙げられますが、瀬戸市コミュニティバスにおいては路線によって利用状況及び収支率に大きな差があるため、現状は作成に至っておりません。しかし、令和８年度に計画を策定する際には一つの目安になると思いますので、今後検討したいと考えております。 （議長） 瀬戸市地域公共交通網形成計画の実施事項については、地域別の状況を把握のうえ目標へ向けて検討いただければと思います。他はいかがでしょうか。 （瀬戸自動車運送（株）　瀬戸旭タクシー部会） 品野おでかけバスについてのご質問等がありましたので、ご報告させていただきます。品野おでかけバスは、運行日と引き換えに利便性を向上させた結果、地域住民も積極的に利用するようになっており、限られた運行経費の中で市、運行事業者及び地域住民の協力で成り立っているとても良い状態だと感じております。 （議長） 上手くいっている取り組みについては、そのまま当てはめることはできませんが、他の地域にも落とし込めるとよいと思います。 この件について、特にご意見がなければ、次に進ませていただきます。 ⑶ 報告事項　チョイソコせとあさひ（ＡＩオンデマンド交通）の実証実験 別紙資料３に従って事務局から説明 **（質疑応答）** （議長） こちらについて皆様からご意見はありますでしょうか。

	（公募市民） 　事務局としては、登録者に対して利用経験者の割合が高いと考えているのか、また利用されなかった方の理由は何が挙げられるかについて教えてください。 （愛知県） 　今回、愛知県事業として実証実験をさせていただきましたので、本資料で取り上げきれなかったものについて補足及び回答させていただきます。登録者に対しての利用経験者の割合については、愛知県の各地で類似のデマンド運行の事例はありますが、実施地域の人口状況、高齢化率等も関係するため、一概に言えるものではありません。ただ、今回の利用経験者の割合は、他地域の本格運行している地域とほとんど遜色ない結果でありましたので、実証実験の期間も短かった中でご利用いただき、公共交通に対して非常に関心が高い地域だと感じました。 　また、利用されなかった方の理由については、アンケート全体では確認しております。最も多かった理由は「今は必要ないから」でした。アンケートでは、さらに免許返納後に主に利用したい移動手段についても確認しており、こちらでは「チョイソコせとあさひのようなもの」の回答が最も多かったです。他の利用されなかった方の理由としては、「実証実験期間が短かったから」、「停留所の場所」や「運行時間」もありましたが、会員登録をしている時点で公共交通に一定以上関心があると考えられます。また、「停留所の場所」や「運行時間」については、次回以降の運行の際に参考にしていただければと思います。 （瀬戸市自治連合会） 　データ分析の重要性は皆様と同感です。また、利用されなかった方については、上手く情報が届いていない側面もあったかと思いますので、別の議論も必要かと思います。 　ただ、地域のものとして協力させていただいた立場から申し上げると、多くの方が実証実験に参加した結果、４０代、５０代等の現役世代も利用いただいていた点や移動実績が可視化できた点等の今後に繋がる興味深いデータが取れたのではないかと感じています。これは期待の表れでもあると思いますので、今回取れたデータを分析し、地域交通の新しい形の形成材料にしてもらいたいです。 （瀬戸自動車運送（株）　瀬戸旭タクシー部会） 　委託事業者から聞くと他地域では電話予約がほとんどのようですが、チョイソせとあさひの利用の特徴としては、WEBの予約が多かったことです。品野おでかけバス等も実施していると電話予約が煩わしいと言う方が多いと感じていたので今後に繋がるデータが得られたと考えています。また、效範地区から尾張旭市方面やその反対の利用も大変多く、新たなことが本実証実験によって明らかになったと感じています。 （議長） 　運行事業者から見たチョイソせとあさひの感想でした。他はいかがでしょうか。 （副議長） 　公共交通の満足度は何もしないと下がっていくので、このような新しい取り組みは、意義があると感じています。社会心理学では意識から行動に変化するとされているので、まず意識は情報を得ないと変わらないので、周知は大変重要となりま

	す。また、実際に利用したくても停留所の場所や運行時間が合わないと利用されないため、利用には意識と行動の２段階があります。 　他にも今回、予約方法でWEBの方が多かったことには大変関心がありますが、時代等によって様々な状況が変わってきますので、それらも含めて今後の参考になるかと思います。 　全体では８割弱の方が満足であり、外出が増えたという方も４割弱いたことは、交通の役割として良いものであったと感じている一方で停留所の場所等に不満が一定数はありましたので、どのようにしたらそのような方の満足度が高まるか考察できれば良いと思います。 （公募市民） 　品野地域から本実証実験の実施地域へ行こうとすると、乗り継ぎが多く発生するため、自家用車をお持ちの方は自家用車を利用することが多いのですが、本実証実験のような運行方法のものもあるとより便利になるため、複合的に検討されると良いと感じました。 （議長） 　今回の取り組みによって尾張旭市と瀬戸市間の移動需要があることが分かった点等、本実証実験はこの実験結果のみならず、その他の公共交通の検討材料になるかと思います。実証実験を踏まえて事務局としてはどのようにお考えでしょうか。 （事務局） 　公共交通は、鉄道やバス、チョイソせとあさひのようなデマンド運行など様々なものを組み合わせることで公共交通網の隙間を埋め、できる限り皆様が公共交通全体を利用しやすい環境づくりをすることが重要と考えておりますので、本実証実験を踏まえてより良い公共交通の検討を進められたらと考えおります。 （議長） 　他はいかがでしょうか。 　この件について、特にご意見がなければ、次に進ませていただきます。 ⑷ 報告事項　住民バスの運行ダイヤ及び便数の見直し 　別紙資料４に従って事務局から説明 **（質疑応答）** （議長） 　車両の現状を踏まえての変更でした。こちらについて皆様からご意見はありますでしょうか。 （公募市民） 　車両の故障は運行中に起きたことはないのでしょうか。 （事務局） 　故障内容はエンジン関係ではなく、電動のスライドドアが故障し、手動で対応せざるを得なくなったものです。このような故障が２台とも起きているため、今後車

	両の負担を減らすため変更するものです。 （副議長） 　品野おでかけバスはサービスレベルの改善も検討する中での変更ですが、本件は減便のみとなるかと思います。住民バスの利用は非常に多く、菱野団地は高齢化率が大変高い地域となるため需要は高いと思いますが、減便によって利用できなくなる人は出てこないのでしょうか。また、外出控えが発生しないよう何か他に対応できることはないのでしょうか。 （事務局） 　午後については元々利用が３名程度のこともあり、問題ありません。元々利用が多い午前についても短距離利用が多いこともあり、乗りこぼしはほとんど発生していないことと、特にバス車内や各施設で利用者には周知を徹底しているため上手く分散してもらいながら利用してもらうことが現状の対応となります。 　現在、今後の対応についても地域と検討中でありますので、長く住民バスを運行し、利用してもらうための施策を考えてまいりたいと思います。 （公募市民） 　財源の問題等はあるかと思いますが、今後も運行を継続するために地域と協議しながら利便性を確保できる形を模索してもらえればと思います。 （議長） 　他はいかがでしょうか。 （公募市民） 　住民バスは３自治会が中心になって始まった事業かと思いますが、今回の変更についての各自治会の反応はいかがでしょうか。 （事務局） 　本件は、地域と３回程度協議を重ねており、現状及び変更内容についてはご了承いただいているところです。また、利用者へも周知をしておりますが、とにかく長く運行を継続してもらうことが重要ということでご理解いただいております。 （議長） 　少し先の話になりますが、車両が壊れてしまった際に運行がどのようになるのか気になるところですが、いかがでしょうか。 （事務局） 　住民バスについても持続可能な公共交通として続けていきたいと考えておりますが、現状のままでは２台同時に更新が必要となり、厳しい状況です。そこで、１台での運行とすることで負担を減らすことで先日の運行協議会でも協議させていただいております。一方で運行協議会においても自分事として捉えており、今後も持続するために共に検討しておりますので、ご理解いただけますと幸いです。 （副議長） 　住民バスについては、ここまで運行を継続できていますが、持続可能性について

	は財政面や担い手面で不安があるため、今後も続けるために何か工夫できればと考えております。 （議長） 他はいかがでしょうか。 （瀬戸自動車運送（株）　瀬戸旭タクシー部会） 住民バスを利用している方の移動傾向が分かるとタクシー部会として何かご協力ができるか等の参考になりますので、分かる範囲で共有いただきたいのですが、いかがでしょうか。 （事務局） 住民バスは、団地内の生活利便施設への移動や名鉄バスへの乗り継ぎを想定して運行されていますが、令和６年１０月から１１月にかけて行ったアンケート調査によると菱野団地内のいせやや菱野団地付近のドミー瀬戸菱野店といった近距離の買い物利用が中心となっております。ただ、全体の１５％程度の方は名鉄バスへの乗り継ぎもしていると確認しております。 （議長） 他はいかがでしょうか。 この件について、特にご意見がなければ、次に進ませていただきます。 ⑸ 報告事項　市内基幹バスのバス停別乗降状況 別紙資料５に従って事務局から説明 **（質疑応答）** （議長） こちらについて皆様からご意見はありますでしょうか。 意見はなさそうなので、次に進ませていただきます。 ⑹ 報告事項　瀬戸市地域公共交通に関する会議の令和６年度実績と令和７年度予定 別紙資料６に従って事務局から説明 **（質疑応答）** （議長） こちらについて皆様からご意見はありますでしょうか。 意見はなさそうなので、本件は以上とさせていただきます。 予定されていました議事はすべて終わりましたので、事務局に進行をお返しいたします。 ○　閉会 （事務局） 磯部議長、ありがとうございました。 委員の皆様におかれましても、お忙しい中、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

	また、今年度末をもって任期が満了することとなります。２年間にわたり、瀬戸市の公共交通に対し、多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。来年度以降につきましては、現在所属団体等にご依頼をさせていただいておりますので、引き続き委員をお願いいただける方につきましては、よろしくお願いいたします。 それでは、以上をもちまして、今年度の瀬戸市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。